

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 花うさぎ 千早

目標達成計画書

作成日: 平成 25 年 03 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	防火対策と防災設備は充実しているので、事業所前の消防署との連携体制や、非常災害時の地域との相互防災協定を確立し、いざという時の救助体制を整えて、利用者を安全に避難誘導していく。	夜間の非常災害を想定し、地域住民の協力と参加を得て、避難訓練の実施と、電気、水道、ガスが使用不可を想定し、非常食、飲料水、毛布、利用者の個人情報やカルテ等を、非常用持ち出し袋に入れて準備しておく。	6ヶ月
2		職員の質の向上と質の確保	利用者の重度化による、職員の介護サービスの提供量が増加し、時間の余裕や、今までと同じサービス提供が困難にならないように、サービス体制の見直しと、チーム介護に取り組んでいく。	職員のやる気や習熟度に合わせ、外部研修に派遣し、内部研修会で報告し、職員全員が理解し、知識を共有しながら介護技術の向上を図る。また、過剰なサービス提供が、利用者の自立支援を阻害する場合があるので、公平なサービス提供を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。